

各 位

会 社 名 株式会社サトウ産業  
 (コード番号 3450 TOKYO PRO Market)  
 代表者名 代表取締役 佐藤 明郎  
 問合せ先 取締役総務部長 大野 智美  
 T E L 025-520-2288  
 U R L <https://www.sato-san.jp/>

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年3月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月6日に開示した2023年2月期(2022年2月21日~2023年2月20日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年2月期通期業績予想数値の修正(2022年2月21日~2023年2月20日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,317	285	294	185	493.42
今回修正予想(B)	3,015	△88	△85	△63	168.53
増減額(B-A)	△302	△374	△380	△248	
増減率(%)	△10.0	-	-	-	
(参考)前期実績 (2022年2月期)	百万円 2,736	百万円 263	百万円 260	百万円 238	円 銭 633.89

#### 2. 修正の理由

当社は、2020年より施工・品質難易度の高い物件に挑戦してきた結果、2022年2月度決算で過去最高の売上高及び利益を計上し、今年度は、一層売上高及び利益の増加を計画しておりました。

ところがコロナ禍やウクライナ戦争等により全世界的に物流が滞った影響により、当社への原材料である金属の納期が期初に想定していたよりも大幅に遅れました。これにより当初計画していた期間で製品を製作

することができず、建設現場に予定通りの納期に製品を納入することができませんでした。さらに建設現場自体の工期が大幅に遅延したことにより、当社の製作工程は計画より大幅な遅延を余儀なくされました。これらのことから当期中に計上を予定していた売上げが来期以降にずれ、売上高が減少することとなりました。

また、原材料の金属の高騰が続いたことで原材料費が請負金額を大幅に上回ったことに加え、製作工程遅れの物件が複数重なったことから自社での全品製作が物理的に不可能となり、当初想定していなかった外部委託をせざるを得ず、結果外部委託に係る費用が発生しました。これらのことから営業損失を計上することとなり、2023年2月期の業績予想を修正することとなりました。

また、特別損失として過剰木材在庫利用緊急対策事業対象物件に関する助成金の返納費用が発生したことにより16.8百万円計上いたしました。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上